

とんぐい村の こみ・すく通信

令和元年10月25日発行 第13号
更別村コミュニティ・スクール委員会

みんなの学校応援団 の活動を紹介<その9>

「武道の学習」

10月。更別中央中学校では、体育の授業で「武道」の学習が始まりました。中学校の学習では、武道を、柔道・剣道・相撲から選択して学習することになっていますが、更別中央中では1・2学年で「柔道」に取り組んでいます。

中学校には柔道の学習をする環境がないため、2コマを使って、村の柔剣道場へ移動しての学習です。



【武道は礼に始まり、礼に終わる】

2日には、2年生の授業がありました。体育の先生の他に、外部指導者として、みんなの学校応援団に登録いただいた太田綱基さんに、一緒に指導をしていただきました。



ウォーミングアップ、受け身の練習に続いて、寝技の練習をしました。

生徒たちは、専門的

で手厚い指導の下、楽しそうに練習に取り組んでいました。

「生きもののかんさつ」

10月16日。上更別小学校では、みんなの学校応援団のおひとり、齋藤彦馬さんに、低学年生活科の「生きもののかんさつ」の授業をお手伝いいただきました。



十数種類の生きた昆虫やカエルを持ってきていただき、観察させていただきました。子どもたちからは、たくさんの質問がありましたが、豊富な知識で、なんでも答えてくれ、子どもたちからは「虫博士」と呼びかけられていました。



オオカマキリや、ニホンヒキガエルを触らせてもらったり、オオカマキリが生きたココロギを捕まえて食べ

るところも、見せていただきました。

その後、好きな生き物を選んで、絵をかきました。



本物を観察し、触れることができる。コミュニティ・スクールならではの授業に、子どもたちはいきいきと取り組んでいました。

